

1 調査名称：甲州市都市計画道路見直し調査

2 調査主体：甲州市

3 調査圏域：甲州市塩山地内

4 調査期間：令和3年度

5 調査概要：

西関東連絡道路の完成や連結する新山梨環状道路（東部区間）の事業化による交通量及び交通体系の変化が想定されることから、将来交通需要を見越した広域的なネットワークの形成が求められるため、約50年前に都市計画決定された本市の都市計画道路をまちづくりの方向性や交通計画及び道路構造に整合した都市計画道路に見直しする必要がある。

また、社会情勢の大きな変化や防災に適した都市計画道路の整備及び整備着手の長期化が見込まれる都市計画道路の見直しを行う。

I 調査概要

1 調査名称：甲州市都市計画道路見直し調査

2 報告書目次

第1章 都市計画道路見直しの背景と進め方

- (1) 目的
- (2) 見直し検討フロー

第2章 検討対象路線の概要

- (1) 都市計画道路整備状況
- (2) 都市計画道路計画幅員
- (3) 地域の現況及び将来人口推計
- (4) 甲州市都市計画マスタープランにおける位置づけ
- (5) 必要性の検証項目の設定
- (6) 各路線の必要性の検証結果
- (7) 検証対象路線

第3章 各路線の検証

3-1 検証のための評価項目・評価基準

3-2 庁内アンケート

- (1) 庁内アンケートの概要
- (2) 庁内アンケートの結果

3-3 3・5・3 塩山千野線（区間②）

- (1) 路線の概要
- (2) 事業性の検証
- (3) 総合的な検証

3-3 3・4・3 上於曾本町神田線

- (1) 路線の概要
- (2) 事業性の検証
- (3) 総合的な検証

3-3 3・5・6 下塩後牛奥線（区間②）

- (1) 路線の概要
- (2) 事業性の検証
- (3) 総合的な検証

第4章 見直し案

巻末資料

- ・様式 1 0
- ・様式 1 1
- ・図面集（総括図、計画図、標準横断図、将来道路網図）
- ・業務計画書
- ・打合せ記録簿

3 調査体制

甲州市都市計画検討庁内幹事会
甲州市都市計画検討庁内幹事会 事務局 (甲州市都市整備課 計画指導・景観担当)

4 委員会名簿等：

甲州市都市計画検討庁内幹事会

未来戦略室長	広瀬 秀一
防災危機管理室長	古屋 勇司
建設課長	内田 正文
農林振興課長	上矢 敏彦
上下水道課長	柚野 栄
観光商工課長	志村 裕喜
文化財課長	飯島 泉
市民生活課長	網野 光邦
勝沼支所長	金井 明則
大和支所長	小林 茂夫
都市整備課長	日原 美希彦

事務局

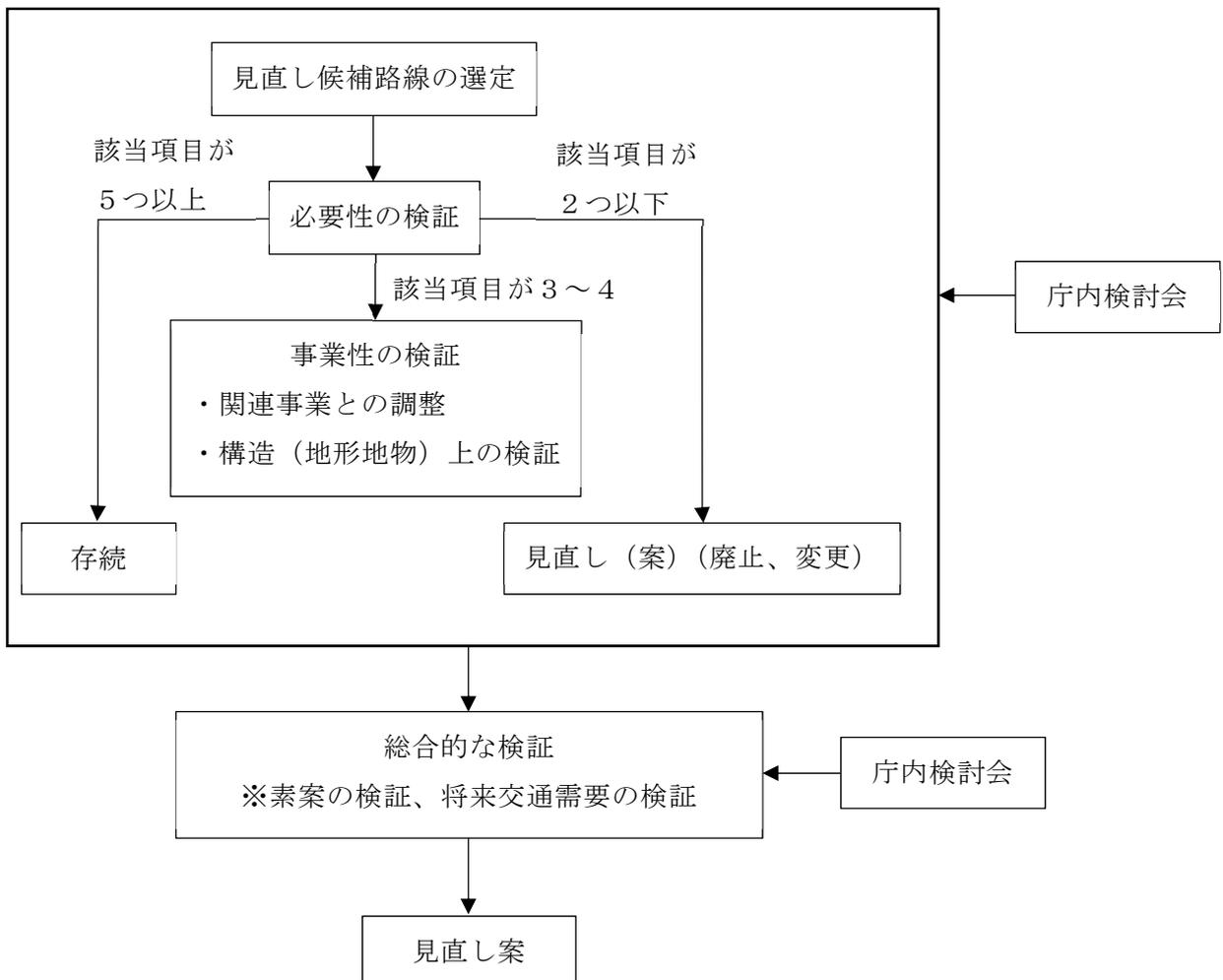
都市整備課 計画指導・景観担当	
リーダー	丸田 美津恵
副主査	勝村 悠史
主任	楠 かすみ

II 調査成果

1 調査目的

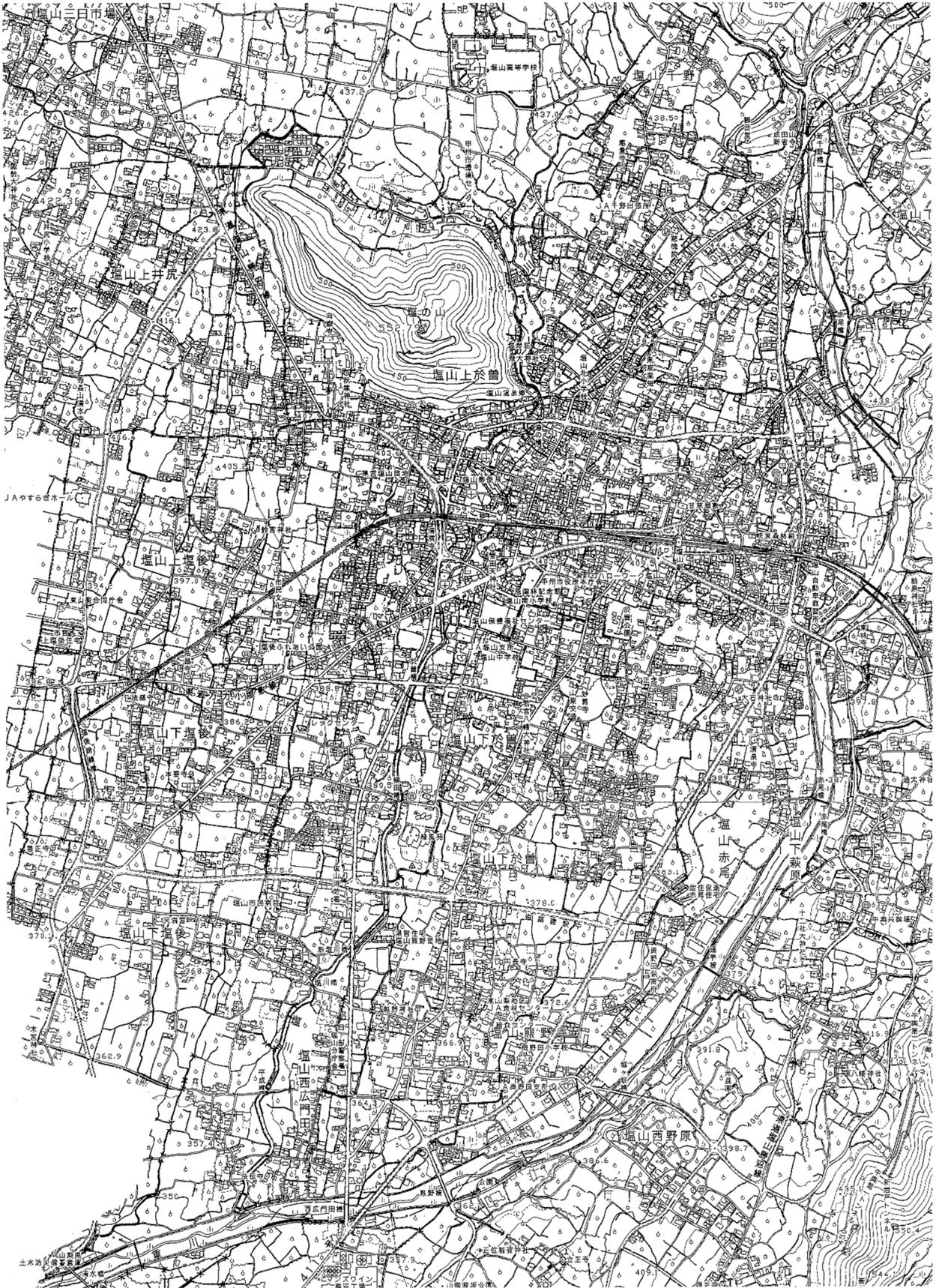
都市計画決定から現在までの社会情勢の変化、将来交通需要及び防災に適した都市計画道路の整備及び広域的なネットワーク形成が求められていることから、整備着手の長期化が見込まれる都市計画道路の見直しを行うことを目的とする

2 調査フロー



「都市計画道路見直しガイドライン（山梨県）平成19年3月」に準拠

3 調査圏域図



4 調査成果

各種検証の結果を踏まえ、対象3路線3区間の都市計画道路見直し案の概略を以下に示す。

【都市計画道路の見直し案】

路線の概要				位置	区間	必要性の検証		事業性の検証		総合的な検証	判定
決定年月日	当初	S33.4.16	評価項目			評価	評価の視点	評価			
3・5・3 塩山駅千野線	決定年月日	当初	S33.4.16		②	市内外の主要拠点へのアクセス向上が見込まれる路線	<ul style="list-style-type: none"> 南北の軸となる路線は、既に市道上に於き95号線及び国道411号(3・5・5千野西広門田線)の2路線が整備され、交通ネットワークが確保されていることから、区間②を整備する必要性は低い。 	地形地物・構造などへの課題	<ul style="list-style-type: none"> 合計19の建物が線形にかかっているが、大規模構造物はなく、地形地物に関する課題はない。 終点部における現道との交差位置は、既存の千野駐在所と近い距離にあるため、構造上の課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●国道411号(3・5・5千野西広門田線)及び市道上に於き95号線(旧国道411号)により、交通ネットワークが形成されている。 	廃止
		最終	S60.2.4								
	計画延長(m)	1,370									
	計画幅員(m)	12									
	整備状況	整備済延長(m)	0								
		未整備延長(m)	1,370								
整備済率		0.0%									
3・4・3 上曾本町菅田線	決定年月日	当初	S60.2.4		①	商業施設が多い道路の通過交通が抑制される路線	<ul style="list-style-type: none"> 対象路線は旧国道411号であり、まちなかの利便性向上を図るために、道路の拡幅が必要であったが、現在は3・5・5千野西広門田線が国道411号として整備されたため、都市計画道路としての拡幅の必要性はなくなった。 	地形地物・構造などへの課題	<ul style="list-style-type: none"> 合計39の建物(主に商店・住宅)と重なっており、地形地物に関する課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●線形には、合計39の建物がかかっており、整備により景観的な影響が懸念される。 	廃止
		最終	H15.11.20								
	計画延長(m)	490									
	計画幅員(m)	16									
	整備状況	整備済延長(m)	0								
		未整備延長(m)	490								
整備済率		0.0%									
3・5・6 下塩屋牛久保線	決定年月日	当初	S43.12.28		②	必要性の検証において、「1.都市構造上の視点」「2.交通処理の視点」「3.まちづくりの視点」「4.防災上の視点」として設定した評価項目に対し、いずれも該当しなかった。	地形地物・構造などへの課題	<ul style="list-style-type: none"> 合計8の建物(主に住宅)が線形にかかっており、地形地物に関する課題がある。 区間②は、重川を渡るため橋梁整備が必要となるが、周辺エリアには既に3橋架かっており、周辺エリアにおける交通ネットワークは構築されていることから、整備の必要性は低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ●区間②は、将来交通需要も少なく、周辺には既に3橋が整備され、交通ネットワークは構築されていることから、整備の必要性は低い。 ●文化財の包蔵地であるため、文化財を活用した賑わいのあるまちづくりとして、文化遺構を活用した整備を進めることが望ましい。 	廃止	
		最終	S54.4.10								
	計画延長(m)	1,970									
	計画幅員(m)	12									
	整備状況	整備済延長(m)	929								
		未整備延長(m)	1,041								
整備済率		47.2%									